

公立高等学校入試の面接実施の有無及び校内順位の決定方式について

1. 面接実施の有無について

愛知県教育委員会から、7月7日に、令和8年度愛知県公立高等学校入学者選抜（全日制課程）の一般選抜における各高校の面接実施の有無および校内順位の決定方式について発表されました。

一般選抜における面接実施の有無は、各高等学校が選択して決定しています。

一般選抜において面接を実施する学校は、普通科が6校（尾張学区3校、三河学区3校）、専門学科・総合学科5校の計11校となっています。

守山高校や日進高校では、令和8年度も面接が実施されます。

（参考1）令和8年度入学者選抜（一般選抜）における面接実施の有無

	地 区	実施する	実施しない	計
普通科	尾張学区	3校	63校	66校
		4.5%	95.5%	100.0%
	三河学区	3校	35校	38校
		7.9%	92.1%	100.0%
普 通 科 計		6校	98校	104校
		5.8%	94.2%	100.0%
専 門 学 科 計		5校	89校 1校舎	94校 1校舎
		5.3%	94.7%	100.0%
総 計		11校	187校 1校舎	198校 1校舎
		5.5%	94.5%	100.0%

2. 校内順位の決定方式について

一般選抜における校内順位の決定に際しては、各高等学校があらかじめ選択したⅠからⅤのいずれかの方式によって得られた数値を基礎資料とした上で、総合的に行われます。

調査書情報の評定得点と学力検査合計得点の扱いは、次の通りです。

- Ⅰ （評定得点）＋（学力検査合計得点）
- Ⅱ {(評定得点)×1.5}＋(学力検査合計得点)
- Ⅲ (評定得点)＋{(学力検査合計得点)×1.5}
- Ⅳ {(評定得点)×2}＋(学力検査合計得点)
- Ⅴ (評定得点)＋{(学力検査合計得点)×2}

※ 評定得点は、調査書情報の「学習の記録」の評定合計を2倍した数値とし、最高を90点（5点×9教科×2）とする。

※ 学力検査合計得点は、国語、数学、社会、理科及び外国語（英語）の各教科の得点の合計とし、最高を110点（22点×5教科）とする。

	評定得点	学力検査合計得点	合 計
Ⅰ（同等）	90(45%)	110(55%)	200
Ⅱ（評定×1.5）	135(55%)	110(45%)	245
Ⅲ（学力×1.5）	90(35%)	165(65%)	255
Ⅳ（評定×2）	180(62%)	110(38%)	290
Ⅴ（学力×2）	90(29%)	220(71%)	310

※ （ ）内の数字は、評定得点と学力検査合計得点の比率です。

※ 近隣の学校では、春日井高校（Ⅲ→Ⅴ）が、前年度から校内順位の決定方式を変更しました。

県公立高校の校内順位決定方法

[illegible]

【注1】学科名は、大学科の中に小学科が複数ある場合には大学科名、小学科が一つだけの場合には小学科名としてある。

【注2】各高等学校の校名・学科名は、令和7年度募集公告に基づく。ただし、令和8年度に足助高校は、観光科を新設するため上記のように記載した。